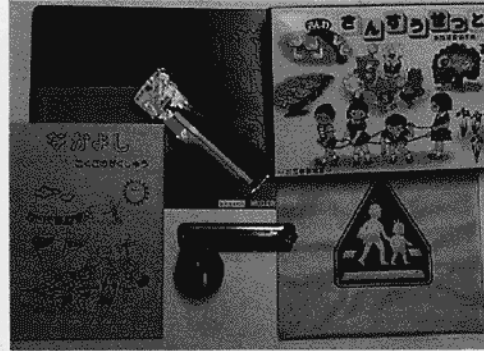


新入学児童に祝品を贈る

日光東照宮、二荒山神社、輪王寺、日光警察署、日光交通安全協会



日光東照宮、二荒山神社、日光山輪王寺、日光警察署、日光交通安全協会から、今年も、新入学児童に入学祝品が贈られました。

入学祝品は、東照宮が「なかよし国語の学習」、「粘土細工セット」、二荒山神社が「算数セット」、輪王寺が「ハローモニカ」、「カスターネット」、日光警察署と日光交通安全協会が「ランドセルカバー」で

す。

市教育委員会では、これらの入学祝品を四月十日の入学式のときに、新入学児童一人ひとりに渡すことになっています。

転居の

シースンです

各種の届出を

忘れずに

転勤などで転居されることが多くなる時期です。忙しさに追われて、つい忘れがちなのが転出や転入に伴う届け出です。

(市役所への届出)

①住民登録の手続きは市役所で転出証明書をもらい、十四日以内に新住所地で転入届を済ませてください。

②印鑑登録証の返却をし、新住所で新たに申請をしてください。

③国民健康保険証は返却し、新しい住所で新たに申請を。国民年金は新住所で住所変更の手続きをしてください。

また、郵便局にも転居届を出してください。転居届の用紙は、郵便局の窓口のほか、市役所の窓口にも備えてあります。

ご利用ください

市民

ギャラリー

日光郷土センター内の「市民ギャラリー」は、皆さんのギャラリーとして無料で開放しています。グループ展、個展などお気軽にご利用ください。詳しくは、中央公民館(☎五三・三七〇〇)か日光郷土センター(☎五三・三七九五)へ。

同和教育啓発

シリーズ ⑭

(4)同和教育が存続してきた背景

同対審査申の指摘にもみられるとおり、明治四年の解放令は、同和教育の画期的なでき事でした。しかし、それは単に蔑称を廃し、身分と職業が平民なみにあつかわれることを宣明したにとどまり、実質的な解放を

保障する行政施策を伴わなかったため、対象地域住民は、明治維新の社会においても、封建時代とあまり変わらない差別の中の貧困状態におかれてきたのです。

その後、大正時代に全国

水平社の自主的解放運動が起ることを契機に、政府は地方改善の名目により環境改善対策を行いました。しかし、このような部分的な改善では、

同和教育のおこりと経過

意識が残っているなど、わが国の社会、

代的大企業があるかと思えば、他方には遅れた中小企業や零細経営の農業があり、同様にわが国の社会は、一面で近代的な市民社会の性格をもって

いるが、他面では前近代的な身分社会の性格をもっているという状況にあります。さらに、また、精神文化の分野でも、迷信や偏見、前時代的な意識が残っているなど、わが国の社会、

同和教育を未解決のまま存続させてきたといえるでしょう。したがって、戦後、わが国の社会、経済、文化の近代化が進展したにもかかわらず、同和教育は依然として未解決のまま深刻かつ重大な社会問題として厳存しているのです。

「同和教育の解決のため」に「より